

日本語・イタリア語対照研究

— 「水語彙」を中心として —

古 浦 敏 生

§1 はじめに

水は人類にとって必要不可欠のものである。したがって、「水」を構成要素とする語彙（以下、「水語彙」と略称する）は、日本語にもイタリア語にも数多く存在する。大雑把に言えば、日本語の「水」はイタリア語の *acqua* に当る。たとえば、日本語の「汚水」はイタリア語では *acqua sporca* “汚れた水”であるが、被限定語（「水」・「*acqua*」）と限定語（「汚-」・「*sporca*」）の語順が逆である点を除けば、両者は対応した表現であると言える。他方、「香水」とそれに相当する *profumo* に関して言えば、日本語の「香水」には構成要素としての「水」が存在するが、イタリア語には *acqua* が欠けている。すなわち、**acqua profumata* “香をつけられた水”とはなっていない。この場合は、対応した表現とは言えない。また、イタリア語には、ギリシャ語由来の接頭辞 *idro-* も「水」を表わしており、複雑な「水語彙」の体系を呈している。そこで、本稿では「水」と *acqua* と *idro-* との対応・非対応の関係を検討して、両言語の特徴をクローズアップさせたいと思う。

§2 方法論

筆者はここ数年来、日本語とイタリア語との対照研究を推進している。本稿では、日伊両言語の「水語彙」に着目し、次の条件下でデータを収集することとする。

- (1) 調査対象の「水語彙」は、和田忠彦監修・西川一郎編『和伊中辞典』第2版、2008、小学館（略号【和伊】）に掲載の見出し語に絞る。したがって、【和伊】に記載のない「献水・入水・水軍・水神・通水・風水・満水・水場・名水・若水、など」は割愛する。また、見出し語の派生語は、どこまで採用すべきかその判定に窮する場合が多いので、割愛することとする。したがって、「水道」は採用するが、その派生語としての「水道管・水道局・水道工事・水道メーター、など」は不採用とする。なお、*acqua* が「水」と対応しない用例の収集資料として、池田廉ほか4名編『伊和中辞典』第2版、1999、小学館（略号【伊和】）を利用する。なお、略号の後の数字は出現ページである。
- (2) 名詞どうしの対応に絞る。したがって、動詞対応の用例、たとえば、「水攻め」=*inondare il castello* “城を水浸しにする”【和伊 1539】は不採用とする。また、形容詞対応の用例、

- たとえば、「防水」=impermeabile “不浸透性の”【和伊 1464】も不採用とする。
- (3)イタリア語訳が対応語ではなく、いわば解説・説明の様相を呈している用例も不採用とする。たとえば、「水入り」=breve sospensione di un combattimento di *sumo* “相撲競技での短い中断”【和伊 1538】、など。
- (4)上掲辞書に専門用語としての記載のある語彙には《 》内にその旨記しておく。

§3 用例

以下、日本語の「水語彙」から見たイタリア語の対応関係と、イタリア語の「水語彙」から見た日本語の対応関係に分けて、収集した用例を列記しよう。なお、左肩のローマ字表記は§4の(2)項で詳述する対応パターンの分類に基づくものである。

I. 日本語からイタリア語を見た場合

- (1)「水」が *acqua* と対応している用例
- 【A】雨水 *acqua pluviale* 【和伊 43】
 - 【A】汚水 *acqua sporca* 【和伊 200】
 - 【A】温水 *acqua calda* 【和伊 228】
 - 【A】海水 *acqua marina* 【和伊 240】
 - 【A】下水 *acque nere* 【和伊 471】
 - 【A】硬水 *acqua dura* 【和伊 512】
 - 【A】鉱水 *acqua minerale* 【和伊 512】
 - 【C】湖水 *acqua di un lago* 【和伊 544】
 - 【A】塩水 *acqua salata* 【和伊 629】
 - 【B】上水 *acqua rubinetto* 【和伊 733】
 - 【A】浄水 *acqua pura* 【和伊 733】
 - 【D】浸水 *penetrazione dell'acqua* 【和伊 772】
 - 【D】水位 *livello dell'acqua* 【和伊 782】
 - 【D】水域 *zona d'acqua* 【和伊 782】
 - 【D】水温 *temperatura dell'acqua* 【和伊 783】
 - 【D】水管 *tubo dell'acqua* 【和伊 783】
 - 【G】水彩画 *acquerello* 【和伊 784】
 - 【D】水質 *qualità dell'acqua* 【和伊 784】
 - 【D】水上 *superficie dell'acqua* 【和伊 784】
 - 【E】水蒸気 *vapore acqueo* 【和伊 784】
 - 【D】水深 *profondità dell'acqua* 【和伊 784】
 - 【D】水槽 *serbatoio d'acqua* 【和伊 785】
 - 【G】水族館 *acquario* 【和伊 785】

- 【D】水底 fondo dell'acqua 【和伊 786】
- 【D】水滴 goccia d'acqua 【和伊 786】
- 【D】水筒 fiasca d'acqua 【和伊 786】
- 【D】水稻 riso coltivato in acqua 【和伊 786】
- 【G】水道 acquedotto 【和伊 786】
- 【D】水分 contenuto d'acqua 【和伊 787】
- 【D】水泡 bolla d'acqua 【和伊 787】
- 【D】水脈 vena d'acqua 【和伊 787】
- 【D】水面 superficie dell'acqua 【和伊 787】
- 【D】水利 utilizzazione dell'acqua 【和伊 787】
- 【D】水流 corrente d'acqua 【和伊 788】
- 【D】水量 volume d'acqua 【和伊 788】
- 【D】水冷 raffreddamento ad acqua 【和伊 788】
- 【D】水路 corso dell'acqua 【和伊 788】
- 【A】聖水 acqua santa 【和伊 833】
- 【D】治水 regolazione di un corso d'acqua 【和伊 986】
- 【D】貯水 la scorta d'acqua 【和伊 1009】
- 【A】泥水 acqua melmosa 【和伊 1160】
- 【A】生水 acqua non depurata 【和伊 1186】
- 【A】軟水（淡水、真水）acqua dolce 【和伊 1195】
- 【C】廢水 acqua di scarico 【和伊 1262】
- 【D】排水 scarico dell'acqua 【和伊 1262】
- 【D】噴水（装置ではなく、噴出する水）getto d'acqua 【和伊 1434】
- 【I】分水嶺 spartiacque 【和伊 1434】（注 1）
- 【D】水鏡 specchio dell'acqua 【和伊 1538】
- 【D】水嵩 il livello d'acqua 【和伊 1538】
- 【D】水瓶 vaso per l'acqua 【和伊 1538】
- 【E】水草 erba acquatica 【和伊 1538】
- 【G】水氣 acquosità 【和伊 1538】
- 【D】水煙 foschia sull'acqua 【和伊 1538】
- 【E】水栽培 coltivazione acquatica 【和伊 1539】
- 【D】水飛沫 spruzzi d'acqua 【和伊 1539】
- 【D】水玉 goccia d'acqua 【和伊 1539】
- 【D】水溜り stagno d'acqua 【和伊 1539】
- 【D】水鉄砲 pistola ad acqua 【和伊 1539】

- 【D】水時計 orologio ad acqua 【和伊 1539】
- 【E】水鳥 uccello acquatico 【和伊 1539】
- 【D】水捌け scolo d'acqua 【和伊 1539】
- 【D】水柱 colonna d'acqua 【和伊 1539】
- 【D】水割り（ブランデーの水割り）brandy con acqua 【和伊 1540】
- 【C】用水 acqua di irrigazione 【和伊 1657】
- 【A】冷水 acqua fredda 【和伊 1713】
- 【D】離水 decollo dall'acqua 【和伊 1692】
- 【C】湧き水 acqua della sorgente 【和伊 1739】
- (2) 「水」が idro- と対応している用例
- 【H】加水分解 idrolisi 《化》【和伊 282】
- 【F】給水 approvvigionamento idrico 【和伊 384】
- 【F】水圧 pressione idrica 【和伊 782】
- 【F】水系 il sistema idrografico 【和伊 783】
- 【F】水耕 coltura idroponica 【和伊 783】
- 【H】水酸化物 idrossido 《化》【和伊 784】
- 【F】水車 ruota idraulica 【和伊 784】
- 【H】水腫 idropisia 《医》【和伊 784】
- 【H】水素 idrogeno 《化》【和伊 785】
- 【H】水治療法 idroterapia 《医》【和伊 786】
- 【H】水力学 idraulica 【和伊 788】
- 【H】水和 idratazione 《化》【和伊 788】
- 【H】脱水 disidratazione 【和伊 953】（注 2）
- 【H】炭水化物（含水炭素）carboidrato 《化》【和伊 973】（注 3）
- 【F】水資源 risorse idriche 【和伊 1539】
- (3) 「水」が acqua とともに idro- とともに対応している用例
- 【D】・【F】水圧 pressione dell'acqua, pressione idrica 【和伊 782】
- 【D】・【F】水力 forza dell'acqua, forza idrica 【和伊 788】（注 4）
- 【D】・【H】水路 corso dell'acqua, idrovia 【和伊 788】
- (4) 「水」が acqua とともに idro- とともに対応していない用例
- 雲水 bonzo mendicante 【和伊 153】
- 大水（洪水、出水、水害）inondazione 【和伊 187】
- 冠水 sommersione 【和伊 335】
- 喫水 pescaggio 【和伊 368】
- 香水 profumo 【和伊 512】

降水量 piovosità 【和伊 512】
山水 paesaggio di monti e fiumi 【和伊 619】
小水 urina 【和伊 733】
進水（船の進水）varo di una nave 【和伊 772】
水泳 nuoto 【和伊 783】
水球 pallanuoto 【和伊 783】
水牛 bufalo 【和伊 783】
水銀 mercurio 【和伊 783】
水源 sorgente 【和伊 783】
水郷 zona sulla riva di un fiume 【和伊 783】
水産 prodotto ittico 【和伊 784】
水準 livello 【和伊 784】
水晶 cristallo 【和伊 784】
水星 Mercurio 【和伊 785】
水成岩 roccia sedimentaria 《地質》【和伊 785】
水仙 narciso 【和伊 785】
水葬 sepoltura in mare 【和伊 785】
水田 risaia 【和伊 786】
水難 annegamento 【和伊 786】
水盤 bacile 【和伊 786】
水半球 emisfero marittimo 【和伊 787】
水夫（水兵）marinaio 【和伊 787】
水平 orizzontalità 【和伊 787】
水防 prevenzione di mareggiate e inondazioni 【和伊 787】
水疱疹 eczema 《医》【和伊 787】
水墨画 dipinto a inchiostro di china 【和伊 787】
水没 inondazione 【和伊 787】
水蜜桃 pesca bianca 【和伊 787】
水門 chiusa 【和伊 787】
水曜日 mercoledì 【和伊 787】
水浴 bagno 【和伊 787】
泉水 laghetto 【和伊 866】
潜水 immersione 【和伊 866】
着水 ammaraggio 【和伊 990】（注 5）
噴水（水を噴出する装置）fontana 【和伊 1434】

水垢 *incrostazione* 【和伊 1537】
 水揚げ *sbarco delle merci* 【和伊 1537】
 水飴 *sciropo di amido* 「澱粉のシロップ」 【和伊 1538】
 水色 *azzurro* 【和伊 1538】
 水桶 *secchia* 【和伊 1538】
 水掻き *membrana connettiva* 【和伊 1538】
 ミズキ *corniolo* 《植》 【和伊 1538】
 水着 *costume da bagno* 【和伊 1538】
 水際 *riva* 【和伊 1538】
 水薬 *farmaco liquido* 【和伊 1538】
 水気 *umidità* 【和伊 1538】
 水子 *neonato* 【和伊 1538】
 水先案内 *pilotaggio* 【和伊 1539】
 水差し *caraffa, brocca* 【和伊 1539】
 ミズスマシ *girino nuotatore* 《昆》 【和伊 1539】
 水炊き *pollo in umido* 【和伊 1539】
 ミズナギドリ *berta* 《鳥》 【和伊 1539】
 水飲み場 *fontanella* 【和伊 1539】
 ミズバショウ *simplocarpo* 《植》 【和伊 1539】
 水膨れ *gonfiore* 【和伊 1539】
 水疱瘡 *varicella* 《医》 【和伊 1539】
 水虫 *micosi* 《医》 【和伊 1540】
 水物（液体） *liquido* 【和伊 1540】
 羊水 *liquido amniotico* 《医》 【和伊 1657】

II. イタリア語から日本語を見た場合

(1) *acqua* が「水」と対応していない用例

acqua alta 「高潮」 【伊和 18】
acqua calda 「湯」 【伊和 1559】
acquacedrata 「シトロン・ジュース」 【伊和 18】
acqua cheta 「内に悪意を秘めている人」 【伊和 18】
acquaforte 「腐食銅版画」 【伊和 19】
acquaio 「(台所の) 流し」 【伊和 19】
acquaticità 「(水に対する) 適応性」 《スポ》 【伊和 19】
acquamarina 「藍玉、アクアマリン」 《鉱》 【伊和 19】
acquaragia 「テルベンチン、松脂」 《化》 【伊和 19】

acquastrino 「沼地」【伊和 19】
 acquata 「にわか雨」【伊和 19】
 acquatinta 「アクアティント版画」《美》【伊和 19】
 acquavite 「蒸留酒、火酒、グラッパ」【伊和 19】
 acquazzone 「集中豪雨」【伊和 19】
 acquerella 「霧雨、こぬか雨」【伊和 19】
 acquerugiola 「霧雨」【伊和 19】
 acque territoriali 「領海」【伊和 18】
 acquetta 「小雨」【伊和 19】
 acquicoltura 「魚介類の養殖」【伊和 19】
 acquitrino 「よどみ、沼」【伊和 19】
 acquolina 「よだれ、こぬか雨」【伊和 19】
 annacquata 「(短時間の) こぬか雨、小雨」【伊和 83】

(2) idro-が「水」と対応していない用例

idrochinone 「ハイドロキノン」《化》【伊和 725】
 idrofilo 「ガムシ」《昆》【伊和 725】
 idromeccanica 「流体力学」【伊和 725】
 idromedusa 「ヒドロクラゲ」《動》【伊和 725】
 idrometra 「イトアメンボ」《昆》【伊和 725】
 idrometria 「流量測定」【伊和 725】
 idrometro 「流量計、流速計」【伊和 725】
 idronimo 「河川名」【伊和 725】
 idrosilurante 「電撃機」《軍》【伊和 725】
 idrostatica 「流体静力学」《物》【伊和 725】
 idrozoi 「ヒドロムシ類」《動》【伊和 725】
 sorgente idrotermale 「温泉」【伊和 725】

§ 4 用例の分析(1)——集計結果と対応の構造

(1) 集計結果

前節の結果を簡潔にまとめたのが第 1 表である。すなわち、“「水」に関していえば、acqua と対応している場合が 67 例、idro-と対応している場合が 15 例、acqua と idro-の両方と対応している場合が 3 例であった。そして、「水」が acqua と idro-とも対応しない場合が 64 例であった。acqua に関していえば、「水」と対応しない場合が 22 例であった。また、idro-に関していえば、「水」と対応しない場合が 12 例であった。そして、対応例は合計 85 例、非対応例は合計 98 例であった。”以上を総合的に判断すると、日伊両言語の「水

語彙」は、非対応の場合のほうがやや多いということになる。

第1表 (出現は+、欠如は-)

出現水語彙	日本語	イタリア語		用例数	計
	水	acqua	idro		
対応	+	+	-	67	85
	+	-	+	15	
	+	+	+	3	
非対応	+	-	-	64	98
	-	+	-	22	
	-	-	+	12	

(2)対応の構造

対応例85種を精査すると、その対応の仕方には8種の構造が存在することが分かった。以下、それらをA型～I型に分類し、イタリア語の対応語には逐語訳を付すこととする。前置詞はdiのほか、a、con、in、per、suも用いられる。

- 【A型】「acqua+形容詞」構造……eg. 聖水 = acqua santa “水+聖なる”
 - 【B型】「acqua+名詞」構造……eg. 上水 = acqua rubinetto “水+蛇口”
 - 【C型】「acqua+前置詞+名詞」構造…eg. 湧き水 = acqua della sorgente “水+の+泉”
 - 【D型】「名詞+前置詞+acqua」構造…eg. 水質 = qualità dell’acqua “質+の+水”
 - 【E型】「名詞+acqua+形容詞」構造 …eg. 水鳥 = uccello acquatico “鳥+水の”
 - 【F型】「名詞+idro+形容詞」構造 ……eg. 水圧 = pressione idrica “圧+水の”
 - 【G型】「接頭辞 acqua+名詞」構造 …eg. 水道 = acquedotto “(接頭辞)水+管”
 - 【H型】「接頭辞 idro+名詞」構造 ……eg. 水路 = idrovia “(接頭辞)水+路”
 - 【I型】「名詞+接尾辞-acqua」構造 …eg. 分水嶺 = spartiacque “分割+(接尾辞)-水”
- 次に、これらの型の使用頻度を調べた結果が第2表である。

第2表

型	A	B	C	D	E	F	G	H	I
用例数	14	1	4	42	4	8	4	10	1
計	88								

第2表によれば、“A型の用例数は14、B型の用例数は1、C型の用例数は4、…であった。”ということが分かる。最も使用頻度の高かったのはD型であった。すなわち、日本語の「水」に対して、イタリア語では「名詞+前置詞+acqua」構造で対応する場合である。次に使用頻度が高かったのはA型であった。第3位はH型であった。なお、対応を示した合計欄の数値は、第1表と第2表では異なっている。これは、「水」が acqua と idro-

の両方に対応している場合が3例あったことに因る (§3のIの(3)項を参照)。

§5 用例の分析(2)——特記すべき非対応

(1) 日本語の「水」に対してイタリア語が非対応の場合

(a) 日本語における対立概念はイタリア語では必ずしも対立概念にはならない。

日本語には「水」に上下の区別がある。すなわち、「上水」は“水道水”を「下水」は“廃水・汚水”を表わす。イタリア語にはこのような上下の区別は無い。「上水」は *acqua rubinetto* “蛇口水”であって**acqua superiore* “上の水”とはならない。また、「下水」は *acque nere* “黒水”であって**acqua inferiore* “下の水”とはならない。

日本語には「水」に大小の区別がある。すなわち「大水」は“洪水”を「小水」は“小便”を表わす。イタリア語にはこのような大小の区別は無い。「大水」は *inondazione* “洪水”であって**acqua grande* “大水”とはならない。また、「小水」は *urina* “小便”であって**acqua piccola* “小水”とはならない。

日本語には「水」に硬軟の区別があるが、イタリア語ではこれが硬・甘の区別となっている。「硬水」= *acqua dura* “硬い水” vs 「軟水」= *acqua dolce* “甘い水”。

(b) 日本語の「水」は、イタリア語では(水を連想させる) 関連概念としての「魚」・「川」・「海」などと対応する場合がある。

「水産」= *prodotto ittico* “魚の産物”

「山水」= *paesaggio di monti e fiumi* “山と川の景色”

「水葬」= *sepoltura in mare* “海への埋葬”

「水半球」= *emisfero marittimo* “海の半球”

「着水」= *ammaraggio* “着海”(注5)。

(c) 日本語の「水蜜桃」は、イタリア語では *pesca bianca* “白桃”となり、水分の多さや蜜の甘さよりも、色彩が重視されている。

(2) イタリア語の *acqua* と *idro* に対して日本語が非対応の場合

(a) イタリア語の *acqua* は、日本語では(水を連想させる) 関連概念としての「潮」・「湯」・「雨」・「海」などと対応する場合がある。

acqua alta “高い水” = 「高潮」

acqua calda “熱い水” = 「湯」

acquata “にわか水” = 「にわか雨」

acqua territoriali “領土としての水” = 「領海」

(b) 接頭辞 *idro* は(日本語と対応している場合も含めて) 専門用語に多用されている。

§6 まとめ

最後に本稿で明らかになった主な事柄を列記しておこう。

- (1) 日伊両言語の「水語彙」は対応しない場合がやや多い(対応 85 例、非対応 98 例)。
- (2) 日伊両言語の「水語彙」が対応する場合を精査すると、そこには 8 種の対応構造が存在していることが分かった。最も使用頻度が高かったのは、日本語の「水語彙」とイタリア語の「名詞+前置詞+acqua」構造との対応であった(42 例)。次いで、使用頻度が高かったのは「acqua+形容詞」構造との対応であり(14 例)、第 3 位は「接頭辞 idro+名詞」構造との対応であった(10 例)。
- (3) 日伊両言語の「水語彙」が対応しない場合を精査すると、いくつかの特記すべき事象が現れた。
- (a) 日本語における対立概念はイタリア語では必ずしも対立概念にはなっていないこと。たとえば、日本語には水に「上下」・「大小」・「硬軟」の区別があるが、イタリア語には無いこと(イタリア語では「上水」は acqua rubinetto “蛇口水”に、「下水」は acque nere “黒水”になる、など)。
- (b) 日伊両言語のうち、一方は「水語彙」であるのに、他方は(水を連想させる)関連概念としての「潮」や「海」や「魚」などで対応している場合があること。たとえば、acqua alta “高い水” = 「高潮」、acque territoriali “領土としての水” = 「領海」、「水産」 = prodotto ittico “魚の産物”、など。
- (4) 接頭辞 idro- が付いているイタリア語の「水語彙」には専門用語が多いこと。
- (5) 日伊両言語において、実体としては「人間」であるのに、表現としては「水」となっている特異な事例が存在すること。たとえば、日本語の「雲水」は、実体としては“所定めず遍歴修行する坊さん”のことである。また、イタリア語の un'acqua cheta “物静かな水”も、実体としては“内に悪意を秘めている人”のことである。

注

- (1) acqua が語末に現れる語としては、ほかに paracqua “雨傘”【伊和 1065】がある。
- (2) disidratazione には二つの接頭辞(dis-と idro-)が含まれている。
- (3) carboidrato は idrato “水和物”に接頭辞 carbo- “炭素の”が付加された語である。
- (4) 「水力(発電による電力)」は carbone bianco “白い石炭”【伊和 265】とも言われる。
- (5) ammaraggio は mare “海”の派生語である。

付記

日本語の「水」には、和語の「ミズ」と漢語の「スイ」が存在する。また、「雨水」のように「水」が被限定語となっている場合と「水温」のように「水」が限定語となっている場合が存在する。しかし、これらの区別は、筆者の事前調査では、イタリア語の「水語彙」との対応・非対応とは無関係であった。

なお、「水語彙」の慣用句・比喻表現の日伊対照研究は今後の興味深い課題である。